

令和7年10月31日

文部科学省 研究振興局 参事官（情報担当）付
計算科学技術推進室長 栗原 潔様

理化学研究所 計算科学研究センター
センター長 松岡 聰様

兵庫県 産業労働部長 小林 拓哉
神戸市 企画調整局
局長（医療産業担当）森 浩三

スーパーコンピュータの地元貢献に関する要望

平素は、兵庫・神戸においてスーパーコンピュータに関する各種取組を実施いただき厚くお礼申し上げます。

スーパーコンピュータの一層の産業利用推進と人材育成、地元住民のさらなる理解促進のため、下記のこととを要望しますので、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 産業振興への貢献

地元企業が、高度な計算資源をより身近に活用できる環境の整備は、地域経済の活性化および技術革新の促進に資するものです。

については、下記のこととを要望します。

- 「ポスト富岳」や量子コンピュータ、クラウドサービス等、次世代計算機科学の技術動向などに関する、地元企業向けの講演や見学会の実施

2. 人材育成

KOBE HPC サマースクール（県立大学との共催）や「富岳」体験塾の開催、県立大学主催の講習会「『富岳』・スパコン超入門」での講演、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校によるサイエンスフェアへの会場提供・研究紹介、地元の中高生の施設見学受入れなど、若年層を対象とした人材育成の取組を進めていただいているところですが、さらなる次世代の研究者・技術者の創出に向けて、下記のこととを要望します。

- 地元の中学校・高校へ出向いての講演や出前授業の実施

- 地元 SSH 指定校の探求活動におけるシミュレーション技術の活用方法の指導

- 地元の高等教育機関の学生が高度なシミュレーション技術や機械学習技術を習得するための「富岳」等を活用した講座の開催

3. 地元住民への情報発信

「富岳」やHPCIが地域に立地している意義を広く地元住民に伝え、科学技術に対する理解と関心を深めるとともに、地域の誇りとして認識されるよう、下記のこととを要望します。

○研究教育拠点(COE)形成推進事業をはじめとする「富岳」を活用した取組が、防災やイノベーション創出など地元にも貢献していることの発信

※発信方法の例

- ・一般向け施設見学会等での説明
- ・ホームページ等での動画・資料の公開

○神戸市立青少年科学館での「富岳」や量子コンピュータに関する展示

※展示の現状

- ・「京」の筐体を展示

○理化学研究所 計算科学研究センターにおける一般向け展示の充実、展示場の土・日・祝日の解放